

新しい学年にも慣れてきて、勉強のペースもつかめてきた頃でしょうか？ 5月は勉強への慣れと連休が重なり、勉強のペースを乱しやすい時期でもあります。一度ペースを乱してしまうと、なかなかもとに戻すのは難しくなります。できるだけペースを乱さないように気をつけましょう。

第29回～第30回では、随筆を学習することで「まとまりどうしの因果関係をとらえる」ことを学習します。また、第31回、第32回では詩・短歌・俳句を学習することで「工夫された表現を手がかりにして情報を構成する部分の提示のされ方や、その意図をさぐる」ことを学習します。

また、語句単元となる「読む」「書く」ツールでは慣用的な表現と、文と文節に関する文法的な知識について学習していきます。

宿題用教材の「栄冠への道」は、必ず授業動画を視聴した後で取り組んで下さい。

◆第29回 随筆 構成と表現①／慣用的な表現Ⅱ

今回から随筆の学習になります。随筆では「体験」の部分と「感想」の部分をきちんと読み分けることで、文章の中で描かれている内容や筆者の気持ちや考えを読み取っていくことが基本となります。

物語文的に話を理解できる文章と論説文的に筆者の主張が述べられている文章があるので、どのような体験が描かれているのかをしっかりと確かめて読んでいくことを意識しましょう。そうすることで、感想の部分をとらえやすくなります。

また、「読む」「書く」ツールでは前回に引き続き「慣用的な表現（慣用句）」を学習します。ことわざと同じように、言葉の形や意味、使い方をしっかりと覚えていきましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章①・・・1～3

「読む」「書く」ツール・・・①～⑥

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の②（文章題）・・・1～3

「読む」「書く」ツール・・・①～③

③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第二十九回

④「本科教室」この問題にチャレンジ。

文章①・・・オプション 探求

文章②・・・1～5 ※動画内で解説しています。

「読む」「書く」ツール・・・（再確認）⑦～⑪

◆第30回 構成と表現②／文と文節Ⅰ

今回も引き続き随筆の読解に取り組みます。随筆では、物語や論説文以上に細部表現の読解が大切になります。細部表現は文字通り文章の細部に工夫された表現を盛り込むことを指しますが、随筆では中心となる体験や感想に直結する部分であることも多く、内容を読み取る手がかりとして役立ちます。細部表現が「何を」「どのように」表現しているのかを考えながら取り組みましょう。

また、「読む」「書く」ツールでは「文と文節」について学習します。今回は修飾語（係り受け）について確かめます。修飾語がどの言葉をくわしくしているのか、言葉の意味を考えながらとらえましょう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章¹・・・1～5

「読む」「書く」ツール・・・¹～⁷

- ②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の²（文章題）・・・1～3

「読む」「書く」ツール・・・¹～³

- ③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第三十回

- ④「本科教室」この問題にチャレンジ。

文章¹・・・オプション 探求

文章²・・・1～7 ※動画内で解説しています。

◆第31回 詩・短歌・俳句 表現技法の効果／文と文節Ⅱ

今回から詩・短歌・俳句に関する学習となります。今回は短歌・俳句を中心に取り組みます。短歌や俳句は、古典的な文学ですので覚えておきたい知識も様々にあります。非常に短い形式の詩であるために、作者の気持ちや詩に描かれている情景を補って理解することも求められることもあります。

まずは、短歌・俳句の基本知識や表現技法についてを読む★ナビで確かめたうえで、一つ一つの言葉の表す意味を想像して読むことを意識して取り組んでいきましょう。

また、「読む」「書く」ツールでは引き続き「文と文節」に取り組みます。今回は複数ある主語・述語に着目しながら文の構造を考えることが中心になります。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章¹・・・A～Dの短歌・俳句に関する問題

「読む」「書く」ツール・・・¹～⁶

- ②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の¹の1・2、²の1・2

「読む」「書く」ツール・・・¹～⁴

- ③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第三十一回

④「本科教室」この問題にチャレンジ。

文章②・・・1～6 ※動画内で解説しています。それぞれ異なる短歌・俳句を取り上げているので、「1～3の問題に取り組む」など区切ってもよいでしょう。

(ご購入されている方のみの案内です)

「語句のまとめ」の教材について、こちらは宿題用の副教材として運用しています。

本科テキストと連動しない形で、語句の問題に取り組むことで幅広い知識の習得を目的として、前期第19回の宿題として「語句のまとめ」第1回、前期第20回の宿題として「語句のまとめ」第2回・・・、という形で取り組む形を想定しています。

今回、5月度につきましては、第29回＝第11回、第30回＝第12回、第31回＝第13回が宿題となります。前半2ページ「入試に向けて知識を定着させよう！」の部分をまずは取り組みましょう。

後半2ページ「知識をさらに深めよう！」の部分は応用問題の位置づけです。時間に余裕がある場合、その単元が苦手である場合、第一志望校で頻出の単元である場合などは取り組んでみてもよいと思います。

◆第32回 詩・短歌・俳句 表現と主題／文と文節Ⅲ

今回は詩について取り組みます。詩では、何についての詩か、どのように表現されているかを詩の表現から読み取りイメージする（情景をとらえる）ことが大切です。そして、そこから作者の気持ちや伝えたい事、感動の中心（主題）を読み取っていきます。前回と同じように、一つ一つの言葉の意味にも注意しながら取り組みましょう。

また、「読む」「書く」ツールでは引き続き「文と文節」に取り組みます。今回はこれまでのまとめとして「文図」についての問題が中心です。主語・述語・修飾語のつながりをしっかりと整理することが大切です。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章①・・・1つ目の詩（問題1①～④）、2つ目の詩（問題2①～④）

「読む」「書く」ツール・・・①～④

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の①の詩・・・1～4、②の詩・・・1～4

「読む」「書く」ツール・・・①～②

③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第三十二回

④「本科教室」この問題にチャレンジ。

文章①・・・3つ目の詩（問題3①～④）

文章②・・・詩の問題（3題） ※動画内で解説しています。それぞれ独立して3つの詩を取り上げています。「1つ目と3つ目の詩に取り組む」など量を調整してもよいでしょう。

(ご購入されている方のみの案内です)

「語句のまとめ」の教材について、こちらは宿題用の副教材として運用しています。

本科テキストと連動しない形で、語句の問題に取り組むことで幅広い知識の習得を目的として、前期第 19 回の宿題として「語句のまとめ」第 1 回、前期第 20 回の宿題として「語句のまとめ」第 2 回・・・、という形で取り組む形を想定しています。

今回、5 月度につきましては、第 29 回＝第 1 1 回、第 30 回＝第 1 2 回、第 31 回＝第 1 3 回、第 32 回＝第 1 4 回が宿題となります。前半 2 ページ「入試に向けて知識を定着させよう！」の部分をまずは取り組みましょう。

後半 2 ページ「知識をさらに深めよう！」の部分は応用問題の位置づけです。時間に余裕がある場合、その単元が苦手である場合、第一志望校で頻出の単元である場合などは取り組んでみてもよいと思います。

GW（ゴールデンウィーク）が始まります。その後は夏休みまで祝祭日がありませんので、ふだんの学習ペースをもう一度見直して学習を継続させていきましょう。そして、勉強を中心においた生活に少しずつ変えていきましょう。5月は「平面図形」という入試では重要な単元に取り組みます。図形がどんな風に組み合わさっているのかを見極める目を養っていきましょう。各回の学習の目安は以下の通りです。

◆第29回 平面図形 図形のいろいろなとらえ方

平面図形を解くにあたって、その図形の「定義（それが何なのか、意味をあらわしたもの）」を理解しておかないといけません。「図形を折り返すとどうなる?」「正方形ってどんな四角形?」など当たり前のことを確認しながら、「論理的」に考えていく習慣をつけていきましょう。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

① 「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①②③ 知識技術①～⑤

② 「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・①～⑤

③ 「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法②, ⑤, ⑧①

栄冠への道・・・学び直し③②, ③, ⑥

◆第30回 平面図形 いろいろな複合図形の面積

2つ以上の図形から成り立っている図形を平面図形といいます。その図形の周りの長さや面積を求めるには、その図形がどのような図形から成り立っているのかを、きちんと見分ける目が必要となります。その視点として、「分ける」「とり除く」「移す」などがあります。このような視点をもって、図形に取り組むようにしましょう。

また、「三角定規」を利用した問題や、「円の面積＝半径を1辺とする正方形の面積×円周率」と考える問題など、様々な問題が収録されています。楽しみながら、解き進めていきましょう。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

① 「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①②③ 知識技術①～⑤

② 「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・①～④

③ 「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法①, ②, ④, ⑤

栄冠への道・・・学び直し③①, ②, ④, ⑤

◆第 31 回 平面図形 図形の移動と作図

今回は「平面図形」の中でも苦手な人がたくさんあらわれる単元です。なぜなら、第 30 回の複合図形の求積だと、求めるべき図形がはっきりと示されていました。ところが、今回は自分で図形を動かし、その様子を作図しないといけません。そもそも、作図が誤っていると、正答にはたどりつきませんし、作図に時間をかけてしまうと、制限時間内に解き終えることができなくなってしまいます。正確に速く作図するためには練習が必要になりますね。しっかりと取り組みましょう。

また、作図が正確でも、特に回転移動においては、どのように図形が重なっているのかも見えにくいかもしれませんが、結局は単純な図形に集約されるはずだ！と思って見てみると意外とやさしいこともありますよ。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①②③ 知識技術 1～6

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・1～7

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法 1, 4, 6

栄冠への道・・・学び直し③ 1, 3, 4

◆第 32 回 平面図形 ～図形と比①～

平面図形に比が融合されます。「平面図形だけでも難しいのに、比がからんでくるなんて！」と思うかもしれませんが、どのように図形が組み合わさっているのかを見ていくことは第 30 回などでも取り組みました。さらに、図形の面積を、比を使って表すことで計算は単純化されます。意外と取り組みやすい単元ですよ。比を使うので、2 つ以上の図形を比べることになりますが、基本は「三角形」で比べます。他の図形の問題がでてきたら、「分けたり」「とり除いたり」しながら解いていきましょう。その上で、「高さが等しい三角形において、底辺の長さの比と、面積の比は等しい」これだけは、必ずおさえておきましょう。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①②③④ 知識技術 1～6

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・1～6

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法 1, 2, 3, 5

栄冠への道・・・学び直し③ 1, 2, 3

発展講座で扱う問題は応用力を必要としますので、問題によっては難しいと思いますが、動画を見ながらしっかりと学習していきましょう。

◆第 29 回 平面図形 図形のいろいろなとらえ方

今回から平面図形の学習に入ります。今回は角度に関する問題を中心に、線対称・点対称などの図形の性質についても学習します。角度の問題については、ノートに自分で図を描いて、わかっている角度や長さの等しい辺の記号などを書きこみながら解いていきましょう。多くの問題では、二等辺三角形を見つけることが手がかりになります。

なお、**10**、**12**、**13**、**14**は発展問題の中でも特に難度の高い問題になっています。できる範囲で取り組んでください。

◆第 30 回 平面図形 いろいろな複合図形の面積

今回は複合図形の面積を求める問題を学習します。今回もノートに自分で図を描いて解きましょう。曲線をふくむ図形においては、曲線の両端の点と円（おうぎ形）の中心とを結ぶ直線をひいて考えるのが鉄則です。また、合同な図形をさがして移しかえたり、平行線にそって等積変形をしたりするなど、図の中で工夫してから面積を求める問題もありますから、そのような意識で図形をとらえましょう。

なお、**12**、**13**、**14**、**15**は発展問題の中でも特に難度の高い問題になっています。できる範囲で取り組んでください。

◆第 31 回 平面図形 図形の移動と作図

今回は、図形の移動に関する問題を学習します。中でも、図形を回転させて転がす問題については、様々なパターンを練習していきます。ていねいに作図をしながら解いていきましょう。特に、**1**、**3**のおうぎ形を転がす問題や、**7**の円の回転数に関する問題は、5年生のテキストで登場していないパターンの問題です。解説をよく見て理解しておいてください。

なお、**7**、**9**、**10**は発展問題の中でも特に難度の高い問題になっています。できる範囲で取り組んでください。

◆第 32 回 平面図形 図形と比①

今回は、底辺の長さの比と面積の比に関する問題を学習します。高さの等しい三角形どうしの底辺の長さの比と面積の比が等しいことを利用して解いていきます。図の中に四角形がある場合は、対角線で三角形に切り分けるとわかりやすくなる場面も多いので、補助線をひいたり、図形の向きを変えてみたりしながら、高さの等しい三角形を見つけましょう。

なお、**9**、**11**、**12**、**13**は発展問題の中でも特に難度の高い問題になっています。できる範囲で取り組んでください。

ふく風もこちよい季節となりました。連休もあるので、ふだんはできないことにも挑戦できますね。計画をたてて、有意義にすごしましょう。

5月の理科では「水溶液の性質」「中和反応」「熱と燃焼」「音の性質」について学びます。いずれの単元でも、覚えていない言葉は、意味も含めて正しく覚えることが大切です。また、どのような数量関係が成り立つのかという点にも、注意して取り組みましょう。

◆第29回 水溶液

代表的な水溶液の特徴や、溶解度・濃度の計算方法を身につけよう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう

- ・代表的な10種類の水溶液の特徴を覚えよう。
- ・溶解度と、その変化により固体が出てくる現象を理解し、出てくる固体の量を計算で求めてみよう。
- ・濃度の意味を考え、いろいろな水溶液で、濃度やとけている物質などの量を求めてみよう。
- ・物質の性質のちがいを利用して、固体を分離する方法を理解しよう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」…オプション探求
- ・「栄冠への道」…学び直し①、学び直し③ 1、2

③「栄冠への道」さらに深く学ぼう：学び直し③ 3、4、5

④「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

◆第30回 中和

水溶液の中和反応について、どのような物質ができるのか、また、発熱によってどのように温度が変化するのかなど、様々な変化のようすを、規則性と共に考えてみよう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう

- ・代表的な中和反応と、できる物質を覚えよう。
- ・グラフや表を基に、過不足なく中和する量を見つけよう。
- ・中和したとき、次の量について、規則性をとらえよう。
 - (1) 水を蒸発させたときに残る物質の種類と重さ
 - (2) 中和した時の温度変化
 - (3) 中和した後の水溶液での水素の発生量
- ・環境問題の原因となっている物質について、調べてみよう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」…オプション探求
- ・「栄冠への道」…学び直し① **1**、**2**、学び直し③ **1**、**2**、**3**

③「栄冠への道」さらに深く学ぼう：学び直し① **3**、学び直し③ **4**、**5**

④「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

◆第31回 熱と燃焼

いろいろな物質が燃えるとき、起こっている変化について考えてみましょう。

また、熱と温度は、日常生活では同じような意味に使われることがあります(人の平熱など)が、理科という学問では、意味が異なります。

物質に熱が入ると温度が上がり、物質から熱が出ていくと温度が下がります。つまり、熱は出入りするもの、温度は上がったたり下がったりするものです。このような細かい言葉の使い方のちがいにも目を向けて、学習内容を正しく理解していきましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう

- ・物質が燃えるときに必要な3つの条件を調べてみよう。
- ・ろうそくや金属が燃えるときに起こる現象を理解しよう。
- ・木を蒸し焼きにするときに起こる現象を理解しよう。
- ・燃焼の前後に起こる、物質の重さの変化を計算で求めてみよう。
- ・水の三態変化について理解し、温度変化に伴う熱量の移動を計算で求めてみよう。
- ・3つの熱の伝わり方(伝導・対流・放射)について、理解しよう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」…オプション探求
- ・「栄冠への道」…学び直し① **1**、**3**、**5**、学び直し③ **1**、**2**、**3**、**4**、**6**

③「栄冠への道」さらに深く学ぼう：学び直し① **2**、**4**、学び直し③ **5**、**7**

④「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

◆第32回 音の性質

音は、物質が振動することで伝わります。人間は音を「大小(強弱)」「高低」「音色」の3つの要素で聞き分けています。では、それらのちがいは、どのようにして調べることができるのでしょうか。

音が伝わるときの振動のようすを、目に見えるようにしたものが音波です。音波の振幅、波長、波の形が、音の要素と関係していることが知られています。

このような音の要素がどのような条件で変化するのか調べてみましょう。

また、音が伝わる速さと時間や道のりの関係を式で表し、その変化を計算で求めてみましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう

- ・音の高低・強弱・音色が、音波のどの要素と対応しているのか理解しよう。
- ・音の伝わる時の特徴(回折、反射と吸収、ドップラー効果、共鳴)を理解しよう。
- ・真空鈴の実験の目的や、結果からわかることを整理して理解しよう。
- ・モノコードを使った実験で、音の高低や大小と、弦の太さなどの性質との関係を考えよう。
- ・音の伝わる速さの変化、また、速さと時間、道のりの3つの間にある規則性をもとに、音の伝わるようすを計算で求めてみよう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」…オプション探求
- ・「栄冠への道」…学び直し①、学び直し③ 1、2、4、5

③「栄冠への道」さらに深く学ぼう：学び直し③ 3、6、7

④「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

◆第 29 回 天下統一と江戸幕府

安土桃山時代～江戸時代前半までを学習します。戦乱の世から平和な世への移り変わりとともに、江戸時代の政治がどのようにおこなわれていたのかを確認しましょう。

①「本科教室」ここだけはおさえておこう

- ・日本に鉄砲やキリスト教が伝来したことを確認しましょう。またそれらによる日本でおきた変化をおさえましょう。
- ・織田信長、豊臣秀吉の政治を理解しましょう。テキストにある年表で流れをおさえましょう。
- ・代表的な桃山文化（障壁画や茶の湯など）を確認しましょう。
- ・徳川家康が築いた江戸幕府のしくみと強固な支配体制について確認しましょう。
- ・江戸幕府の外交方針が変更され、鎖国にいたった過程を確認しましょう。
- ・徳川綱吉の政治と江戸時代の産業や都市、交通の発達について確認しましょう。
- ・元禄文化の内容を覚えましょう。

②「日本史資料集」ここだけは参照しておこう

- ・ P 8 2 ㉔ P 8 3 ㉕ P 8 4 ㉖ P 8 5 ㉗ P 8 7 ㉙

③「本科教室」解いてみよう

- ・ オプション探求、シナジー

④「栄冠への道」

- ・「思い起こし②」を読みましょう。
- ・「学び直し①」「学び直し③」を解いてみましょう。

◆第 30 回 江戸幕府のおとろえと開国

江戸時代後半を学習します。鎖国中の日本のようすや開国にいたる流れを確認しましょう。

①「本科教室」ここだけはおさえておこう

- ・世界では、いわゆる「市民革命」とよばれる出来事がおきていました。入試には出にくい内容です。しかしマリー・アントワネットに想いをはせてみてもいいのではないのでしょうか。
- ・幕政改革（三大改革）の内容を確認しましょう。改革の名と実行者の組み合わせをしっかりと。ここもあまり入試には出ません。
- ・化政文化の内容を覚えましょう。とくに学問や美術については入試ではよく出ます。
- ・諸外国の接近から開国にいたるまでの流れを確認しましょう。開国のきっかけと不平等条約の内容を中心に。
- ・開国から倒幕にいたるまでの流れを確認しましょう。

②「日本史資料集」ここだけは参照しておこう

- ・ P 9 4 ㉚ P 9 5 ㉛

③「本科教室」解いてみよう

- ・オプション探求、シナジー

④「栄冠への道」

- ・「思い起こし②」を読みましょう。
- ・「学び直し①」「学び直し③」を解いてみましょう。

◆第31回 明治維新と憲法発布

江戸時代から明治時代へと移り変わる過程とその後の変化を学習します。急速に西洋化する日本のようすをとらえるとともに、明治政府のおこなった政治を確認しましょう。

①「本科教室」ここだけはおさえておこう

- ・このとき欧米諸国では、憲法がつくられ、議会がひらかれ、国民には権利や自由がみとめられるようになりました。近代国家になるには何が必要なのか、日本にとっての課題でもありました。
- ・天皇中心の国家づくりを確認しましょう。漢字4字のことばがよく出てきます。紛らわしいので内容を区別していきましょう。日本史資料集のP32の年表も参照して下さい。
- ・明治維新の具体的な内容や、文明開化についておさえましょう。
- ・帝国議会の開設にいたるまでの流れをおさえましょう。自由民権運動は大切ですね。
- ・大日本帝国憲法の内容と選挙制度について確認しましょう。
- ・明治時代の文化（文学や科学）について確認しましょう。

②「日本史資料集」ここだけは参照しておこう

- ・P96⑤⑤ P97⑤⑥ P98⑤⑦・⑤⑧ P99⑤⑨ P100⑥①

③「本科教室」解いてみよう

- ・オプション探求、シナジー

④「栄冠への道」

- ・「思い起こし②」を読みましょう。
- ・「学び直し①」「学び直し③」を解いてみましょう。

◆第32回 日清・日露戦争と条約改正

前回に引き続き、明治時代について学習します。近代化を急ぐ日本と欧米列強との関係をとらえ、幕末に結ばれた不平等条約の改正へと進む過程を確認しましょう。

①「本科教室」ここだけはおさえておこう

- ・岩倉使節団について確認しましょう。津田梅子のことがくわしくのっていますね。
- ・日本の国境の確定と東アジアとの関係を確認しましょう。北海道と沖縄が日本に組み込まれました。
- ・条約改正へいたる過程とそれを成し遂げた人物の名を確認しよう。鹿鳴館やノルマントン号事件ということばを覚えましょう。

- ・日清戦争へいたる過程と下関条約の内容を確認しましょう。日清戦争前を描いた風刺画は有名です。
- ・日清戦争や日露戦争を経て、日本の産業は発展していきます。その過程を確認するとともに、富岡製糸場と八幡製鉄所という官営工場について覚えましょう。
- ・日露戦争へいたる過程とポーツマス条約の内容、韓国併合を確認しましょう。

④ 「日本史資料集」ここだけは参照しておこう

- ・ P 1 0 2 ⑥③ P 1 0 7 ⑥④ P 1 0 4 ⑥⑤

③ 「本科教室」解いてみよう

- ・ オプション探求、シナジー

④ 「栄冠への道」

- ・ 「思い起こし②」を読みましょう。
- ・ 「学び直し①」「学び直し③」を解いてみましょう。